

中央公民館運営審議会会議概要

- 1 審議会名 平成24年度 第2回 上田中央公民館運営審議会
- 2 日時 平成25年3月15日(金) 午後1時30分から午後3時05分まで
- 3 会場 中央公民館 第二会議室
- 4 出席者 田中美英子委員、久保田夕佳委員、峯村秀則委員、矢島康夫委員、倉沢悦子委員
- 5 市側出席者 神林館長、田中次長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 25年3月16日

協議事項等

- 1 あいさつ (峯村会長)
- 2 協議事項 (進行：峯村会長)
 - (1) 平成24年度事業報告について(説明：神林館長)
 - (委員) 家庭教育の「親子ふれあい広場」は、子育てに悩むお母さんから、参加してよかったという意見が寄せられている。健康プラザでも「にじいろひろば」が開催されているが、それぞれによさがあり、価値がある。
 - (事務局) 家庭教育セミナーは、託児付で行っており、参加希望が多い。
 - (委員) 青少年育成の関係は参加者が少ないようだが、困っているのか。
 - (委員) 青少年育成の関係は、講演内容と参加者のニーズが合致していないことがある。講師の選定、講演の内容、対象が合致すれば効果が上がると思う。
 - (委員) 困っている内容が具体的にあれば講師を選ぶ参考になる。
 - (委員) 青少年の育成も、公民館活動になるのか。
 - (事務局) 学校教育以外は社会教育になる。
 - (事務局) 人権同和教育は、懇談会の参加者が少ない。アドバイスがあればお願いしたい。
 - (委員) 切り口が見いだせなくて、参加者が集まりにくい。しかし、やめるわけにはいかない。違うメディアなども使い、関心を高めることも必要ではないか。
 - (委員) 社会体育は、参加する人を集めるのが大変になっている。
 - (委員) 恋活クッキングは、楽しく話ができしたが、参加者の年代に差があることもある。
 - (委員) コミュニケーションがうまくなる。土台のところから底上げが大切。若い頃、地元「若者会」という会があり、年代の差を越えて話すことができたようになった。公民館の活動は、コミュニケーションが取れる。人と人との関係ー公民館事業の根底にあると思う。
 - (2) 平成25年度事業計画について(説明：神林館長)
 - (委員) 持ち込み講座とは何か。
 - (事務局) 市民から企画を寄せてもらい開催する講座。フレキシブルに対応できる。
 - (委員) 野鳥観察会はどうか。
 - (事務局) 人気が高い。フィールドワークと、DVDにより映像での学習と合わせている。
 - (委員) ことぶき大学の申し込みの状況はどうか。
 - (事務局) 毎年希望者が多い。抽選に外れると、次年度に優先入学としている。25年度は、十数人が抽選からはずれ、次年度に回ってもらうことになった。
 - (委員) 他の公民館を使用するとき、申し込みの対応が異なる。
 - (事務局) 地域の特性やできた時期の差、利用状況などから、対応に差があるものもある。
 - (3) その他 なし